

平成13年度「福祉用具実用化開発費助成金」の交付先決定

(要旨)

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)では、平成13年度「福祉用具実用化開発費助成金」の交付に関し、10件の新規テーマの採択を決定しました。

(内容)

1. 今回の採択状況

この助成金は、福祉用具法に基づき、優れた技術や創意工夫が活かされた実用的な福祉用具の開発を支援するもので、平成13年度は、全国129件の応募の中から、10件の新規テーマの採択を決定しました(別紙1(PDF))。

用途別には、移動/移乗(車いす関係)(3件)、就寝/姿勢保持(1件)、リハビリ/レクリエーション(1件)、誘導/監視(1件)、その他(4件)と、幅広い分野を対象とする結果になりました。

2. 次の公募予定

平成14年度のテーマにつきまして、本年11月から来年1月にかけて公募を行う予定です。

(本プレス発表の内容についての問い合わせ先)

NEDO医療福祉機器開発室 青山・石田・蛸谷 電話 03-3987-9353

なお、本件は経済産業記者会、経済産業省新聞記者会ベンクラブ及び経団連会館内エ ネルギー記者会で同時に資料配布を行っています。

(参考1: 制度の概要)

1. 目的

「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」(福祉用具法)に基づき、福祉用具の実用化開発を助成することにより、心身の機能が低下した高齢者や心身障害者の自立の促進と介護者の負担軽減を図り、福祉の増進に寄与するとともに産業技術の向上に資することを目的としています。

2. 助成の対象

福祉用具の実用化に関する研究開発テーマとして応募されたものの中から、新規性、技術開発要素、利用者のニーズ、経済性、市場規模等について審査し、助成の対象となる事業を決定しています。

なお、審査にあたっては、福祉用具に関する学者・研究者、高齢者医療、介護、リハビリテーション等の現場の専門家の意見を参考としました。

3. 助成率及び助成金の額等

- 助成率は、当機構が認めた助成対象費用の3分の2以内です。
- 助成金の額は、1件につき全期間で約3千万円前後を目安としています。
- 13年度予算額は、2.43億円(経済産業省産業技術環境局一般会計)です。(12年度予算額 2.43億円)
- 研究開発期間は、3年以内としています。

(参考2: 応募状況)

- 平成12年12月1日から平成13年1月24日にかけて公募を行いました。
- 東京を始め全国8カ所で公募説明会を開催したところ、延べ503名の出席がありました。
- 応募総数は、129件に上りました。このうち、首都圏以外からの応募が約8割、また、応募の9割を中小企業が占めました。

(参考3: 実用化の状況)

昨年度までに研究開発が終了したテーマのうち、水道の水圧で駆動する家庭用入浴介護支援リフト、高精度で高速な点字の読み取り装置、施設等のスロープ浴槽用の座高可変入浴車、視覚障害者用の点字プロッタ、高齢者・障害者用の駐車誘導表示板、障害者用の座位保持装置、高齢者・障害者用グランド・ゴルフ、視覚障害者用携帯型音声合成装置、旅行用超軽量携帯用車いす、高齢者・障害者用自立促進シューズ、つかい捨ておしゃれオムツカバー、抑揚を制御できる電気式人工喉頭、ダイレクト駆動電動車いす、などの福祉用具が実用化されています。

(参考4: 「NEDO医療福祉機器開発室」について)

- 「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」の施行にともない、平成5年10月1日に、NEDO(サンシャイン60)内に設置されました。
- 医療福祉機器分野の産業・技術の支援、普及促進や情報提供を実施しております。

件数	テーマ名	会社名	研究場所	内容
1	福祉住環境設計支援CADの開発 (13年度)	株式会社 エー・アイ・エス	福岡県 福岡市	建築士が高齢者・障害者の住宅を設計する際に、その住宅居住者の身体機能が生活機能に適合し、かつ、福祉住環境等の基準を満たしているかどうかを判断し、どこに注目して設計しなければならないかの注意事項やチェック事項を立体的にガイド表示するシステム。
2	車椅子利用者向けシッティング(座位型)ファッション衣服の開発 (13年度)	キノ・ノードプランニンググループ	岐阜県 岐阜市	福祉現場との連携を基に車椅子使用障害者の社会活動支援、自立支援を目的に機能的で、ファッション性のある衣服を提供する。車椅子使用障害者の画像データよりデータベース化をはかり、標準化の道を探る。
3	車いす用多用途テーブル・かごの開発 (13年度)	株式会社 ウェルパートナーズ	岡山県 岡山市	車いす生活者の有意義な社会生活を支援するために、より様々な状況(例えばパソコンの使用、携帯電話等の収納、楽しく買い物などを)に対応できる車いす用多用途テーブル・かごを開発する。使用時には最適な位置に配し、容易に脱着可能、回転移動をすることにより乗り降りが可能となる構造。
4	座面昇降、スタンドアップ機能付電動車椅子の開発 (13年度)	関東自動車工業株式会社	神奈川県 横須賀市	下肢または体幹に傷害があり、一人では歩けない人が自立(例えば買い物や就労)できるよう、座面からの昇降機能、およびスタンドアップ機能(高いところの物を取ったり、人と目線を合わせられる)を付加した電動車椅子。
5	車いす用電動補助駆動装置の開発 (13年度)	ミクニ・マキノ工業株式会社	神奈川県 足柄上郡	タイヤの側面に駆動ローラーを押し当て、それら駆動ローラーとタイヤ側面との間の摩擦力により車輪を駆動する装置を開発する。屋外での使用も想定し、身体機能の衰えた高齢者、障害者の生活圏の拡大と社会参加、自立支援を目的とする。
6	粘弾性樹脂(グル)を素材とした、リサイクル可能な床ずれ予防用具の開発 (13~14年度)	株式会社 クラレ	大阪市 北区	粘弾性樹脂を成型加工することで、床ずれの難治化の原因といわれる「ズレ」を軽減し、軽量で扱いやすい床ずれ予防用具の開発を目指す。低公害でリサイクル性のある樹脂素材を使用し、環境問題にも対応させ、最適な形態で実用化する。覆たきり高齢者のQOLの向上、介護者の負担軽減を目指す。
7	指先及び手全体の握力を適切な筆記荷重に変換できる新形状、新機能を有する高齢者用筆記具の開発 (13~14年度)	べんてる株式会社	埼玉県 草加市	握力低下があるような高齢者に、適切な筆記荷重を付与できるような軸形状、機能を持たせることで、力強い文字が書け、また長時間使用しても快適な筆記が継続できる、高齢者用筆記具を開発する。
8	ホールディング性を高めたリハビリ用陶磁器製パーソナル食器の開発 (13~14年度)	株式会社 アイトー	愛知県 尾張旭市	陶磁器製食器にエラストマーなどのコーティングや竹の節のような凹凸を入れることにより、保持のし易さとともに、触ることによる刺激からリハビリを促進する食器を開発する。
9	聴覚障害者用警告音通報システムの開発 (13~14年度)	株式会社 ワイ・シー・シー	山梨県 甲府市	聴覚障害者のアシスト機器として、例えば危険を知らせる音や声に対して、手などに付けた振動装置を介してそれらを知らせる装置を開発する。
10	安全に楽しめる障害児用チェアスキーの商品化への研究開発 (13~15年度)	株式会社 ウェルテック	北海道 札幌市	安全性、操作性、可搬性及びデザインについて完成度を向上させ、他に類似商品のない重度障害児用のチェアスキーとして商品化し、加えて普及啓蒙にも注力し障害児の冬期間の活動の増大に寄与する。